

10月17日(水)

★献血呼び込みひのきしん



秋のさわやかな風の中、一手一つに勇んで呼び込みひのきしんをさせていただきました。男性2名女性5名の参加を頂きました。ありがとうございました。11月は、14日(水)です。よろしくお願ひします。

10月30日(火)

★教務支庁大掃除ひのきしん



恒例の千葉教務支庁清掃ひのきしんに船橋支部は17名の参加で会室裏の草引きをしました。当日は最近では暑い日差しの中、勇んで日頃の健康な体と親神様のご守護に感謝をして汗を流しました。翌日のようぼくのお環もつとめ総会に向けて、境もすっきりです。

★秋季大祭

立教の元日に由来する立教181年秋季大祭は10月26日、真柱様に代わって中山大亮様を祭主に、本部神殿で執り行われた。

天保9(1838)年、「このたび、世界一れつをたすけるために天降った」との親神様の啓示(おつけ)により、教祖が月日のやしろとなられたこの日。

雲一つない澄んだ秋空のもと、国の内外から帰参した約6000人のようぼく・信者たちは、心一つに「みかぐらうた」を唱和した。おつとめの後、内統領である宮森与一郎本部員が神殿講話をつとめた。

「天理教ホームページ」



★創立100周年記念

第94回天理教青年会総会

青年会本部(安藤吉人委員長)は10月28日、「創立100周年記念 第94回天理教青年会総会」を本部中庭で開催した。

青年会は、世界たすけを目指す本教の羽翼として、大正7(1918)年に誕生。以来、荒道を開拓する「あらきとうりよう」としての使命を受け継いできた。100周年に向けては、この総会を「白紙に戻り一より始める旬」と位置づけ、創立の原点に立ち返り、真のあらきとうりようとして成人できるよう、布教と求道に真正面から取り組むことを申し合わせてきた。

この日、青年会長である中山大亮様は告辞の中で、「今日この日から、私たち一人ひとりが常に自分の成長を貪欲に求め、自主的に動き回り、毎日生かされている喜びを噛みしめながら人生を楽しみ、自分の得意なことを生かして、人をたすけたい、人を喜ばせたいという誠の心をもって、その陽気ぐらしの姿を世界中に映していこう」と呼びかけられた。

「天理教ホームページ」

